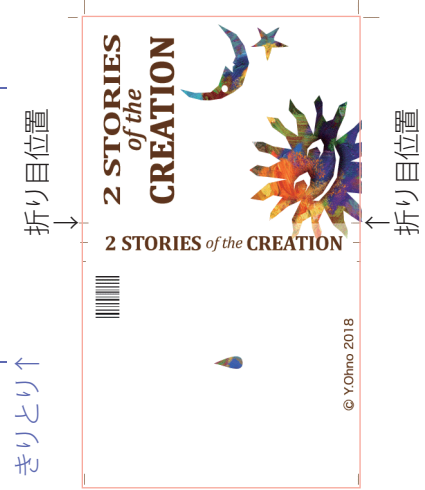
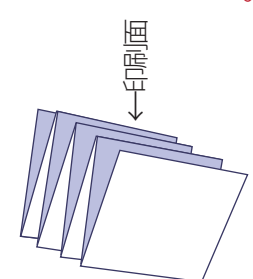
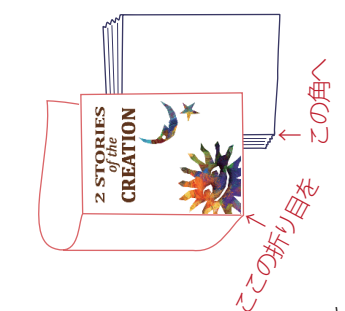


■ 2つの天地創造のお話【2 Stories of the Creation】 ソフトカバーの豆本 (中のページ↓表紙→)

<p>①</p> <p>もぐらと神様</p>  <p>ルーマニア</p>	 <p>天の次に大地を造ろうと神様が糸で下界の大きさはかかっていました。</p>	 <p>それを見ていたモグラが手伝いをもうしていました。</p>	<p>山おり ↓</p> <p>谷おり ↓</p> <p>きりとり ↓</p>  <p>モグラに糸を持たせ「こっち…あっちあっち!」大地がおり上がりつてゆきました。</p>
<p>②</p> <p>しかし、できた大地は大きすぎ…! 鶺鴒にのったモグラが糸を出しすぎたせいです。</p>  <p>「がーん!」これでは天の下に収まりません!</p>	 <p>失敗に落ち込んだモグラはかかれてしまいました。</p>	 <p>神様は八字を使いに出しました。どう直るか、モグラの意見を聞きたくったのです。</p>	<p>きりとり ↑</p>  <p>神様に合わせる顔がないけど私だったら…両方から大地をおして…そしたら山と谷ができて</p> <p>そうしたら全体は小さく天の下におさまるかも…</p>
<p>③</p>  <p>八字は神様にモグラのつぶやきを伝えました。すると神様はその通りの方法で…</p>	<p>苦ゆっ!</p>  <p>大地を天の下に収めたのでした。おしまい</p>	<p>大がらすのレイヴン</p>  <p>シベリア</p>	<p>レイヴンとつまは二人きり 大地がほしいと思った。</p>  <p>二人はさいしょの生きものだった。</p>
<p>④</p> <p>つまが子を生き、レイヴンはおどろいた!</p> 	 <p>自分も何かしなければ!レイヴンはあせり 旅にでた。</p>	<p>夜あけや夕ぐれにそうだんしたが、</p>  <p>できることが見つからない。</p>	<p>大地が作れるか分からないけど、やってみよう!</p>  <p>人のたねに会おうと、かれらもふえ広がる大地をもとめていた。</p>
<p>⑤</p> <p>レイヴンは一人をつれて飛び立ち、</p>  <p>飛びながらふんを試みた。</p>	<p>するとそれは山や谷となり、おしっこは川や湖になった。</p>  <p>「やったね!でもおなか空かない?」</p>	<p>こうして世界は作られたのだった。</p>  <p>おしまい</p>	<p>Illustrated by Y.Ohno</p>



- ★ 全部をつなげ、背にボンド。厚さを5mmぐらいにできると Good!
- ★ 「表紙の折り目位置を、重ねたページの角にあわせて直接くるんと貼り、ウラ表紙の余白を切り落としできあがり。」



- ★ 1列つながったまま、絵の真ん中を谷折り、場面どうしの境目を山折りに。(できるだけピッタリ折りませう)